



TITLE:

表紙・投稿規定・ニュース・プレ
プリント・編集後記・目次・裏表
紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・ニュース・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙
ほか. 物性研究 1967, 8(2): 174-179

ISSUE DATE:

1967-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86025>

RIGHT:

昭和42年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第8巻第2号

vol. 8 no. 2

物性研究

1967 | 5

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシヤの指定を忘れないように。oとaと0(ゼロ),uとnとrr,cとeが一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P: 400字詰原稿用紙による頁数
X: 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシヤの指定を忘れないように。oとaと0(ゼロ),uとnとrr,cとeが一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P: 400字詰原稿用紙による頁数
X: 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニ ュ ー ス

○ 人のうごき

宮 谷 信 也 氏

4月1日付で新潟大学理学部から金沢大学理学部に移られました。

万 成 勲 氏 (岡大理学部・物理)

42年10月1日から43年3月31日まで、九州大学理学部物理学教室
森研究室に学振の流動研究員として滞在予定。

堀 淳 一 氏 (北大理)

National Physical Laboratory, Teddington, Middlesex,
England に42年4月から9月まで滞在。

○ その他のニュース

- (1) 東京教育大学に液化ヘリウムの液化機購入の予算が昭和42年度に於いて認められ、本格的な液体ヘリウムの実験的研究が始められることになった。尚、staff は栖原良正氏が、助教授で、目下助手を公募中ですが、低温理論を理解している方で、一つこの際実験でもやってみようと云うパイオニア精神の持主の理論の若手の公募も期待されています。

募集期間は4月30日迄、教育大三輪光雄先生宛

- (2) 故仁科芳雄博士の胸像除幕式

昭和41年11月22日、岡山大学理学部前庭で、朝永振一郎博士、長男雄一郎東北大助教授の手によって胸像の幕が除かれた。

胸像はさる32年、岡山城跡に建てられたが、岡山城再建のため、母校六高の後身である岡山大学理学部前の広場に移転したもの、朝永博士は病氣をおしてはるばる来岡、いままで、地方講演をしたことのない例を破って、岡山大学学生会館で、仁科博士の偉業を中心に科学者の使命につき、講演された。講演内容は岡山県教育委員会昭和42年1月1日発行の「教育時報」に記載されている。

プレプリント案内

〔芳 田 研〕

- Observation of Nagaoka's Bound State for Conduction Electrons in Dilute Magnetic Alloys.

(M.D. Daybell and W.A. Steyert))

- Fluctuations of the Order Parameter in Type II Superconductors.

I. Dirty Limit. (Christiane Caroli and Kazumi Maki)

II. Pure Limit.

〔中 嶋 研〕

- Relationship between Superconductivity and Electronic Spin Susceptibility in the Transition Metals.

(J.W. Garland)

〔京大物理松原研〕

- Theory of Nucleation and Growth of a Thin Film.

I. Equilibrium Two-Dimensional Liquid-Gas Phases.

II. Application of the Path Probability Method.

(Kikuchi, R.:)

- Cooperative Phenomena in the Triangular Lattice.

(Kikuchi, R.:)

- Cooperative Phenomena in the Triangle Lattice Calculated with the W-Approximation of the Cluster Variation Method.

(Kikuchi, R.:)

- Derivation of the Cluster Growth Equations Using the Path Probability Method. (Kikuchi, R.:)

- Fluctuations of the Order Parameter in Type.

II. Superconductors — I. Dirty Limit.

II. Pure Limit.

(Caroli, Christiane and Maki, Kazumi.:)

プレプリント案内

- Anomalous Spin Diffusion in Ferromagnetic Spin Systems.
(Kawasaki, Kyozi.:)
- A New Approach to the Theory of Turbulent Plasma.
(Ichimaru, Setsuo and Nakano, Tohru.:)
- Ion Wave Instabilities in Mercury-Vapor Plasma.
(Tanaka, H., Hirose, A. and Koganei, M.:)

〔日大理工物理〕

- Angular momentum of a Persistent Current in He II:
Experimental Proposal. (David Bergmann)
- Incoherent Scattering of Slow Neutrons in Polarized
Target. (V.G. Baryshevsky, V.L. Lyuboshits. and
M.I. Podgoretsky; in Russian)
- Landau Damping Considered as a Shift of the Fourier
Spectrum of the Velocity Distribution.
(R. W. B. Best)

〔名大物理教室〕

- Spin Wave Stability of the Ferromagnetic State for a
Narrow s-Band. (Lawa M. Roth)
- Spin Wave Energies in the Band Theory of Ferromagnetism.
(D. M. Edwards)
- New Solution for Exchange Scattering in Dilute Alloys
(Hamann)
- Band Structure Effects on Itinerant Electron Magnetism II.
(S. Alexander, G. Horwitz)

〔東大物理〕

- Pressure Dependence of Curie Temperature in Ni
(N. D. Lang and H. Ehrenreich)
- The Thermoelectric Power of Liquid Metals
(Bernare Springer)

- Equations of Motion in Nonequilibrium Statistical Mechanics, II. (Baldwin Robertson)
- Band Structure Effects on Itinerant Electron Magnetism II. (S. Alexander and G. Horwitz)
- On the Possibility of Second Sound in Turbulent Plasma (Setsuo Ichimaru)
- Canted Antiferromagnetism of $\text{CuCl}_2 \cdot 2\text{D}_2\text{O}$ (H. Umebayashi, G. Shirane, B.C. Frazer and D. E. Cox)
- Temperature Dependence of the Soft Ferroelectric Mode in KTaO_3 (G. Shirane, R. Nathans, and V.J. Minkiewicz)
- Phonon Dispersion Measurements on a Krypton Single Crystal (W. B. Daniels, G. Shirane, B.C. Frazer, H. Umebayashi and J. A. Leake)
- Magnetic Moments of Impurities in Ferromagnetic Transitional State (J. Labbe)
- V^{51} Knight Shift in the $V_3\text{Si}$ Type of compounds in the Normal State (J. Labbe)
- The Paramagnetic Susceptibility in the $V_3\text{Si}$ Type of Compounds in the Normal State (J. Labbe)
- Etude à $4,2^\circ\text{K}$ de la résonance paramagnétique électronique des plaquettes d'atomes de lithium dans le fluorure de lithium. (Christiane Taupin et Daniel Taupin)

研究会公募

「非周期系物性の基礎理論」

標記研究会を6月29日(木)から7月1日(土)まで基研で行います。最近、合金、混晶、無定形物質乃至は生体高分子等周期性よりの著しいずれをもつ種々の物質の諸物性が次第に精密に測定されるようになってきました。これらを理論的に解明するには、周期性よりのずれを単に摂動論的に取扱うだけでは不十分で、新しい理論的取扱法の開発が望まれます。しかしこの分野の研究はまだ歴史も浅く基礎的な未解決の問題が多く残されていますし、理論的な接近法も一様ではありません。非周期系物性の研究は極めて広範囲多岐に渡りますが、予算〔旅費15万円；物性研究 Vol.7, No.6, 1967/4, p.532 参照〕の都合もあって、今回は特に多くの不純物の存在が、例えば格子振動、電子状態、励起子状態等にどのような影響を本質的に与えるかと云うような基礎的理論的研究にしほり、種々のタイプの研究者の活潑な意見の交換にしたいと考えます。

ただし、こちらから実験家に依頼して総合的なお話を伺うことも考えています。

上記研究会に深い関心を持たれる方は 京都市左京区北白川追分町京大基研内 共同利用事務室宛に「非周期系研究会」と朱書してお手紙を頂きたく存じます。

なおその際、①所属 ②地位 ③今までの研究分野の概要と将来計画 をお知らせ下さい。

／切 6月10日

世話人 松 原 武 生
松 田 博 嗣

編 集 後 記

「物性研究」7-6号は、関係者の不注意のため、本来3月号となるべきところを、表紙に4月号と印刷されてしまいました。ここで、心からおわび申し上げますと共に、注意を下さいました方々にお礼申し上げます。

なお、中嶋先生の講義ノートは、あと一回で終りになりますが、担当者の都合で原稿がおくれていますので、来月号まわしになっています。

(米 沢)

物 性 研 究

第 8 卷 第 2 号

1967年5月20日発行

発 行 人 松 田 博 嗣

京都市 左京区北白川 追分町
京都大学基礎物理学研究所内

印 刷 所 大 地 社

京都市上京区河原町荒神口上

発 行 所 物 性 研 究 刊 行 会

京都市左京区岡崎徳成町11
有限会社 双 美 社 内

編 集 後 記

「物性研究」7-6号は、関係者の不注意のため、本来3月号となるべきところを、表紙に4月号と印刷されてしまいました。ここで、心からおわび申し上げますと共に、注意を下さいました方々にお礼申し上げます。

なお、中嶋先生の講義ノートは、あと一回で終りになりますが、担当者の都合で原稿がおくれていますので、来月号まわしになっています。

(米 沢)

物 性 研 究

第 8 卷 第 2 号

1967年5月20日発行

発 行 人 松 田 博 嗣

京都市 左京区北白川 追分町
京都大学基礎物理学研究所内

印 刷 所 大 地 社

京都市上京区河原町荒神口上

発 行 所 物 性 研 究 刊 行 会

京都市左京区岡崎徳成町11
有限会社 双 美 社 内

目 次

液体格子内の一電子スペクトルⅠ（一次元格子）…………… 広田 徹 … 119

不純物励起子の理論 …………… 秋元 興一・長谷川洋 … 127

講 義 ノ ー ト

金属強磁性Ⅲ …………… 金森順次郎 … 150

資 料

(1)基研研究部員会議議事録 …………… 161

(2)国際交流に関するアンケート回答 …………… 171

ニ ュ ー ス…………… 174

プレプリント案内 …………… 175

研究会公募 非周期系物性の基礎理論 …………… 178

編 集 後 記 …………… 179

基研研究会報告

一次元系の非線型力学…………… B— 1

統計力学の諸問題シンポジウム…………… B—56

目 次

液体格子内の一電子スペクトルⅠ（一次元格子）…………… 広田 徹 … 119

不純物励起子の理論 …………… 秋元 興一・長谷川洋 … 127

講 義 ノ ー ト

金属強磁性Ⅲ …………… 金森順次郎 … 150

資 料

(1)基研研究部員会議議事録 …………… 161

(2)国際交流に関するアンケート回答 …………… 171

ニ ュ ー ス…………… 174

プレプリント案内 …………… 175

研究会公募 非周期系物性の基礎理論 …………… 178

編 集 後 記 …………… 179

基研研究会報告

一次元系の非線型力学…………… B— 1

統計力学の諸問題シンポジウム…………… B—56